

令和7年2月18日

太田市議会議長 高田 靖 様

都市産業委員会委員長 木村 浩明

都市産業委員会視察報告書

- 1 期 日 令和6年10月21日（月）から
10月23日（水）までの3日間
- 2 視 察 地 大阪府堺市、京都府亀岡市、京都府綾部市
- 3 視察事項 (1) 大阪府堺市議会
・PARK-PFI制度を活用した公園整備事業（原池公園）
について
(2) 京都府亀岡市議会
・かめおかプラスチックごみゼロ宣言プロジェクトについて
(3) 京都府綾部市議会
・都市計画区域区分（線引き）の廃止について
- 4 派遣委員 7名
木村 浩明委員長 川岸 靖隆副委員長
清水 梨花委員 水野 正己委員 星野 一広委員
松浦 武志委員 久保田 俊委員
- 5 執 行 者 2名
都市計画課 課長 石崎 達也
課長補佐 久保田 康弘
- 6 随 行 者 議会総務課 主事 藤塚 朋大
- 7 視察概要 別添のとおり

(1) 大阪府堺市議会 視察概要

堺市の概要 (令和6年10月1日現在)

- ・面積 149.83 k m² ・人口 806,860 人 ・世帯数 374,040 世帯
- ・市制施行 明治22年4月1日
- ・一般会計予算額 (当初) 令和6年度: 4,675 億円
令和5年度: 4,328 億円
- ・議員定数 48 人
- ・政務活動費 (議員一人当たりの年額) 3,600,000 円

視察事項

「PARK-PFI 制度を活用した公園整備事業 (原池公園) について」

・目的

本市の「八王子山公園」や「太田市運動公園」等の、市民が散歩やジョギング等の軽スポーツをはじめとして、様々な用途で楽しむことが可能な施設について、管理者である太田市の財政負担を軽減しつつ、公園の質や利便性の向上を目的に、PARK-PFI 制度を活用した整備事業を実施した大阪府堺市の「原池公園」を視察研修するものである。

・所感

原池公園は、平成19年5月10日に開設された堺市の運動公園であり、市内の公園で2番目の敷地面積を誇る施設である。この公園は、地域のスポーツやレクリエーション活動の拠点として位置付けられており、本格的なスポーツも行えるとともに、市民一人ひとりの健康づくりを考慮した施設整備がなされている。主な施設には、体育館、野球場、スケートボードパーク (第1パーク、第2パーク)、グラウンドゴルフフィールド、バーベキュー施設、および遊具広場が整備されている。管理者については、公募設置管理制度 (PARK-PFI) と指定管理者制度を併用して、美津野株式会社を中心に6社の共同企業体「ばらいけ NEXT 創発パートナーズ」が一元管理を行っている。この事業の期間は令和3年4月1日から20年間であり、体育館や野球場を含む施設全体の一括管理運営により、公園の魅力創出と利用者サービスの向上が図られていた。

本市において同様の制度を導入することを考えた場合、「太田市運動公園」では、オープンハウスアリーナは指定管理者制度において運営されているが、公園内の他の施設は市が運営している。仮に PARK-PFI 制度を

活用し、一元管理を行うことが出来れば、公園の質や利便性の向上に繋がる可能性も考えられる。

その一方で、PARK-PFI 制度を活用して公園の運営を行っていたものの、途中でやめてしまったり、そもそも運営者が見つからなかったりと、継続的な運営の難しさや、施設の管理体制について課題を認めた。

原池公園のように、民間の専門企業が管理運営を行うことで、施設の活用やソフト面の開発において良い結果が得られる可能性もあることから、本市においても民間手法の活用を模索し、バーベキュー施設やレストランなど、まずは部分的な取り組みから研究していく必要があると考える。

(2) 京都府亀岡市議会 視察概要

亀岡市の概要 (令和6年11月1日現在)

- ・面積 224.80 k m² ・人口 86,335 人 ・世帯数 40,542 世帯
- ・市制施行 昭和30年1月1日
- ・一般会計予算額 (当初) 令和6年度 : 426 億 9,600 万円
令和5年度 : 391 億 4,400 万円
- ・議員定数 24 人
- ・政務活動費 (議員一人当たりの年額) 180,000 円

視察事項

「かめおかプラスチックごみゼロ宣言プロジェクトについて」

・目的

本市にも新しいクリーンセンターができ、ごみ減量に対する啓蒙活動が進んできた。そうした中でも、大量に発生するプラスチックごみの処理は難しく、分別して回収しても、汚れなどの理由で一部のプラスチックごみはリサイクルできていない。亀岡市では、このプラスチックごみをゼロにするというプロジェクトを実施しており、全国的に注目を集めている自治体である。そのプロジェクトの内容や実績、課題を調査し、本市の市政に生かすことを目的として視察研修するものである。

・所感

亀岡市に流れる保津川は「保津川下り」で有名な観光地でもあるが、この保津川が当時、ごみで汚れていた。特にペットボトルやビニールなど、

いわゆるプラスチックごみは腐らずそのまま残るため、どうにかならないかと2人の船頭が始めた地道な清掃活動が、プラスチックごみゼロ宣言プロジェクトのきっかけとなった。ごみはこの川を下り、最終的には海へと流れ出て行ってしまうため、亀岡市では、プラスチックごみをどのように処分するかを考える前に、まずは発生しないようにしようという発想からこのプロジェクトが開始された。まず、効果的だと思われたのは、子どもたちを海に連れて行き、「こども海ごみ探偵団」として海洋ごみを拾い、分類し、調査させている点であった。内陸出身の子どもたちにとって、海での活動は楽しく、強い印象を与える素晴らしい学習となる。また、亀岡市は国に先駆けて、スーパーなど小売店でのプラ製レジ袋提供禁止を決定し、反対意見も多い中、市民説明会や協議会を開催し、条例制定にまで至った熱意は大変素晴らしいものであった。

一連の説明が進む中で、最も感心したのは、「環境を守る」という考え方を発展させ、市民の誇り、シビックプライドへと昇華させている点である。環境ロゴマークを作成し、先進的な取り組みを意識させるようなポスターを市役所の壁全面に掲示し各所でアピールをしていたり、目立つ場所にごみを分別してリサイクルをするボックスを置き、その付近にリサイクルを啓蒙する図や説明文を掲示したりするなど、様々な工夫、取り組みが行われていた。その他にも、きれいなエコバッグをブランドバッグとして銀座ロフトで販売するなど、市内外で環境先進都市として「亀岡」を発信している。また、市民を巻き込んだワークショップなど、いったん決めたことに対して市が全面的に取り組む姿勢は高く評価できるものであった。お金に直結しない環境への取り組みをここまで進めたことは容易なことではなく、亀岡市民が市に誇りを持つことのできる、環境保全を超えた、まさにシビックプライドに直結したプロジェクトであり、本市においても亀岡市を参考に、市民活動を促進する基盤整備や、意識啓発といった取り組みについて研究を行っていきたいと感じた。

(3) 京都府綾部市議会 視察概要

綾部市の概要 (令和6年11月1日現在)

- ・面積 347.10 k m² ・人口 30,107人 ・世帯数 13,801世帯
- ・市制施行 昭和25年8月1日
- ・一般会計予算額(当初) 令和6年度:196億8,706万1,000円
令和5年度:186億1,768万5,000円

- ・議員定数 18人
- ・政務活動費（議員一人当たりの年額） 180,000円

視察事項

「都市計画区域区分（線引き）の廃止について」

・目的

本市は、都市計画区域区分（線引き）がされている地域と、区域区分がされていない（非線引き）地域があり、1市2制度の現状であるが、今後の本市のあり方を考えた場合に、人口減少や少子高齢化社会の影響による市内の各地区で担い手の不足、そのことから伝統や文化、地域活動の低下が懸念される。そうした状況を踏まえ、今後の都市計画区域区分の制度のあり方を改めて研究するため、綾部市にて行われた都市計画区域区分（線引き）廃止について視察研修するものである。

・所感

綾部市は、面積約347km²、人口約3万人が暮らしている地域である。しかし、人口減少や少子高齢化が進行しており、今後さらに深刻化することが予想される。特に中山間地域や農村集落では、その進行が顕著であり、地域によってはコミュニティの維持や集落の存続に支障をきたす恐れがあった。また、市街地では、人口や商店が減少し、空き地や空き家が増加することにより、市民の生活利便性の低下や市全体の活力の弱まりが懸念されており、そのため、農村集落の定住促進、中心市街地の低・未利用地の有効活用、良好な交通アクセスを活かした土地利用など、地域特性に応じたきめ細やかな土地利用が重要であると考え、平成28年に区域区分（線引き）の廃止を決定した。廃止に至るまでは様々な問題があったが、市街化区域が市域全体の約2%であり、廃止可能な状況も整っていたため、約10年の時間を費やし廃止が実現した。廃止後も都市計画税は旧市街化区域内に課税されており、住居の新築はインフラ整備が進んでいる旧市街化区域内で多く行われているとのことである。

綾部市での区域区分の廃止は、その背景に特別な事情や条件があったことに留意する必要がある。各自治体はその状況や将来の展望を考慮して進めるべきである。本市においては、現状で1市2制度が存在しており、今後どのように進めるべきかについては、綾部市の例を参考にし、引き続き研究を進めていく必要があると考える。